



横浜市立相沢小学校 12月号 R4.11.30

学校だより

学校教育目標

学びあい 認めあい 支えあい 夢をはぐくむ あいざわっこ



繰り返しが大事

校長 宮路 ますみ

日本^{にほん}のことわざ^{ことわざ}に「習^{なら}より慣^なれよ」というのがあります。「人^{ひと}や本^{ほん}から教^{おそ}わるよりも、自分^{じぶん}が練^{れんしゅう}習^{けいけん}や経^{かさ}験^{けん}を重^{おも}ねた方^{ほう}が、よく覚^{おぼ}えられる」という意味^{いみ}です。もちろ^{もちろん}ん、最^{さいしよ}初^{ちしき}は知^{ぎじゆつ}識^{おそ}や技^{ひつよう}術^{じゆつ}を教^{おそ}わる必要^{ひつよう}があるのですが、その^{その}後^ごそれら^{それら}が定^{てい}着^{ちやく}できるかどうか^{かどうか}は、本^{ほん}人^{にん}の努^{どりよく}力^{りき}にかかっています。

毎日^{まいにち}出^だされる宿^{しゆくだい}題^{おんどく}。音^{おん}読^{とく}や漢^{かん}字^じ練^{れんしゅう}習^{けいせんれんしゅう}、計^{けい}算^{さん}練^{れんしゅう}習^{けいせんれんしゅう}などは、学^{がく}力^{りき}向^{かう}上^{じょう}のため^{ため}というよりも習^{なら}った知^{ちしき}識^{しき}の^の定^{てい}着^{ちやく}を図^{はか}るため^{ため}に行^{おこな}うもの^{もの}です。日^ひ々^びの鍛^{たん}錬^{れん}はわ^わずか^かであ^あって^ても、いつ^{いつ}のま^まにか大^{おほ}きな力^{ちから}とな^なって蓄^{ちく}積^{せき}され^れるの^のです。だ^だか^からこ^こそ、面^{めん}倒^{とう}くさ^さくても我^が慢^{まん}して^{して}でも努^{どりよく}力^{りき}を続^{つづ}けること^{こと}に意^い味^みがある^あるの^のです。

5年^{ねんせい}生^{せい}は区^くの球^{きゅう}技^ぎ交^{こう}流^{りゅう}会^{かい}のため^{ため}に、学^{がく}年^{ねん}で力^{ちから}を結^{けっ}集^{しゅう}して練^{れんしゅう}習^{とく}に取^とり組^くんでい^いました。最^{さい}初^{しよ}はな^なかな^なか^かパ^パスも思^{おも}うよう^{よう}に出^だせな^なか^かった子^こ供^{ども}たち^{ちが}が、徐^{じょ}々^{じょ}に練^{れんしゅう}習^つを積^{かさ}み重^{こうげき}ね^{ほうぎょ}てい^{たいせい}く^とうち^ちに攻^{こう}撃^{げき}と防^{ぼう}御^{ぎょ}の体^{たい}制^{せい}を取^とることが^{こと}できる^{でき}るよ^ようにな^なってき^きました。地^じ道^{みち}に努^{どりよく}力^{りき}を重^{かさ}ねた^たか^からこ^こそ技^ぎ術^{じゆつ}の向^{かう}上^{じょう}が^み見^みられ^れたの^のだと思^{おも}います。

これ^{これ}は何^{なに}も学^{がく}習^{しゅう}に^{かぎ}限^りったこと^{こと}では^{では}なく、社^{しゃ}会^{かい}生^{せい}活^{かつ}上^{じょう}のル^るール^るを知^しること^{こと}など^{など}にも当^あては^たまり^ります。例^{たと}え^えば、
今^{こんしゅう}秋^{しゅう}はど^どの学^{がく}年^{ねん}も社^{しゃ}会^{かい}科^か見^{けん}学^{がく}や遠^{えん}足^{そく}に出^でか^かける機^き会^{かい}が^{おほ}くあ^ありました。瀬^せ谷^や駅^{えき}ま^までの道^{どう}路^ろの歩^{ある}き方^{かた}、電^{でん}車^{しゃ}に
乗^のる時^{とき}のホ^まーム^{かた}での待^{でん}ち方^{しゃない}や電^す車^{かた}内^{かた}での過^{かてい}ごし方^でなど、家^{とき}庭^{ちが}で出^{そんざい}か^{さいしよ}ける時^{とき}とは違^{ちが}うル^るール^るが存^{そんざい}在^{ざい}し^します。最^{さい}初^{しよ}
はう^うま^まく^くで^でな^なく^くても、回^{かい}数^{すう}を重^{かさ}ねる^ること^{こと}に上^{じょう}手^すにな^なって^てい^いくもの^{もの}です。経^{けい}験^{けん}を積^つみ重^{かさ}ねる^ること^{こと}の大^{たい}切^{せつ}さを改^{あらた}めて
感^{かん}じて^{いて}い^いる次^{しだい}第^{だい}です。地^じ道^{みち}な努^{どりよく}力^{りき}を^く繰^{かえ}り返^{がまんづよ}す我^み慢^{まん}強^{きやう}さを身^みにつけ^かられ^られるか^かど^どうか^かは、家^か族^{そく}の励^{はげ}まし^しによ^よると^ところ
が^{おほ}きな^きいもの^{もの}です。目^め先^{さき}の結^{けつ}果^かにと^こら^らわれ^れること^{こと}なく、お^お子^こさん^{さん}の努^{どりよく}力^{りき}を^ほた^たく^くさん^{さん}褒^ほめる^める機^き会^{かい}を^ふぜ^ぜひ^ひ増^まや^やして^{いて}い^いる
た^ただ^だき^きたい^{たい}と思^{おも}います。子^こ供^{ども}たち^{ちが}は褒^ほめ^められ^られること^{こと}が大^{だい}好^すき^きです^すから。